

# 「新幹線工事現場見学＆ わたしたちが考える熊本駅の未来ワークショップ」開催

## 概要

『土木の日』である11月18日（日）に一般公募及び絵画写真コンクールの受賞者の親子約80人で九州新幹線の現場見学と「わたしたちが考える熊本駅の未来」と題してワークショップを開催。

19年度は、これまでの体験型のフェアから現場見学と参加者によるワークショップを組み合わせ開催したことにより、参加者に土木技術や土木の事業をより深くまた身近に感じてもらうことができ社会資本整備の重要性を理解していただいた。

## 2. 内容

- 1) 九州新幹線トンネル工事現場見学：10時～12時
- 2) 絵画写真コンクール受賞者表彰：13時～13時30分
- 3) プレゼンテーション：13時30分～14時  
鉄道建設・運輸施設整備支援機構 熊本鉄道建設所長  
JR九州熊本支社 施設担当課長  
熊本大学 星野准教授
- 4) ワークショップ：14時～15時  
参加者全員が8班にわかれ熊本駅の未来について討議し、各班毎に発表

## 3. 行事の開催状況

### ① 現場見学会での車中状況



バスの中では新幹線のクイズもあったよ

トンネルって大きいなあ

新幹線って高いところを通るんだなあ！！

### ② トンネル及び高架橋での工事現場見学



### ③ ワークショップの状況



駅にあったらいいなって思うのはどんなもの？

森があって動物園もちかくにある駅になったらなあ



#### 4. ワークショップでの各班の発表

- 1班 駅と街をつなげる空間がポイント  
地域の人のための空間が欲しい…川沿いの公園など
- 2班 道路の中央線のかわりに木を植える
- 3班 動物園や遊園地、足湯などがあっていいな
- 4班 にぎわいを演出する…さるける
- 5班 駅にシンボルが欲しい→阿蘇BOYにまた来て欲しい
- 6班 森でいっぱいにして欲しい
- 7班 遊びに行きたくなる駅。親子で行きたくなる駅
- 8班 新幹線を外から見て楽しめる施設が欲しい  
一駅区間を安くして、体験乗車などが出来るようにしてほしい



#### 5. 参加者の皆さんのご意見

##### 子供たちから…

- ・またぜひ11月18日に開いて欲しいです。また来ます！
- ・土木がトンネルや道路をつくっていることがよく分かりました。
- ・土木という分野を初めて知って、11月18日が土木の日という理由も分かってよかったです。
- ・トンネルが1.2Kあったのがすごかったです。
- ・朝も夜もきれいに见られる橋はいいなあと思いました。
- ・私は新幹線が通る道の階段をのぼるのは恐かった。
- ・冬、工事をする人は寒いと思います。
- ・作り途中のトンネルの中に入ったので、とてもおもしろかったです。
- ・新幹線が通る高いところののぼれたのは、楽しかったけれど少しドキドキしました。

##### 大人たちから…

- ・子供たちが土木に興味を持ち、たくさんの技術者が出て日本や世界のために頑張ってもらいたい。
- ・トンネルの工事現場はめったに見ることができないと思いますので大変貴重な体験であったと思います。
- ・新幹線が開通するのを楽しみにしていますが、そのための準備は知らないところでたくさんの人が大変なことをやってくれているのだなと思いました。また、「土木」についてあまり考えることが無かったので、今日色々なお話を聞かせて頂いて、私達の生活を快適に支えて頂いている大切な技術だと思いました。
- ・トンネルの現場など通常見ることのできない場所を見学でき、非常にいい体験だった。
- ・ワークショップでは駅について初めて真剣に考える瞬間だった。子供にもいい経験だった。
- ・普段知ることができない新幹線工事を目で見て体験することができてとても勉強になった。子供たちもとても喜んでいて、いい一日になったと思います。こういうイベントがあればぜひ参加させて頂きたいと思います。
- ・こうやって、市民が集まり、公共の事など話せる機会はないので楽しく話させてもらいました。皆さんの意見も「うんうん、あったらいいな」と思うものばかりでした。
- ・新幹線の工事現場を見せて頂き、貴重な体験をさせて頂きました。早く完成して欲しいと思いました。
- ・新幹線の開発現場というか、橋やトンネルの見学等を行い、貴重な体験が出来たと思います。子供と一緒に参加し、熊本の都市計画等の勉強をさせて頂いてありがとうございました。このような機会があれば、是非参加したいと思えます。
- ・新幹線の建設現場を見学できてよかった。ワークショップも子供達の意見をきくことが出来て良かった。ただ、ワークショップの最初の説明が長すぎて子供達が退屈になっていた。子供達の話す時間がもっと長くて良いと思う。
- ・市民の立場でのワークショップを企画して頂き、実行してもらえたことは、生活に欠かせない土木について考えることができとても勉強になりました。
- ・土木について身近に感じず、毎日生活をしていたので、土木は私達の未来の生活まで見据えた事業である事に感謝し、今後何らかのかたちで協力していきたいと思いました。